

送電用導電衣 技術情報

着用

- ◎この導電衣は、送電線の鉄塔上において人体に誘起する静電誘導電流を軽減するもので、導電性靴下と導電性作業靴と共に正しく着用することによりその効果を発揮するものです。
- ◎インナー式の衣類ですので、**一般作業服の下、且つ、肌着の上に着用します。**
(肌に直接触れないように着用します。速乾性の下着が望ましいです。)
- ◎フードとトップス、トップスとボトムの間は、導電紐で電氣的に確実に接続してください。

遮へい率

- ◎遮へい率は、従来品規定に基づき、乾燥時80%、湿潤時50%を確保しています。
※規定；送電線充電部接近作業安全対策検討報告書(TLT-28(2002)送電線建設技術研究会)

品質管理

- ◎導電衣としての品質管理は、遮へい率の確認が万全ですが、以下に示す「洗濯回数」又は、「電気抵抗値」でも管理が可能です。
※遮へい率の測定は、(株)電力機材サービスでも可能です。
- ◎使用後は速やかに洗濯をして、ビニール袋等に入れ、棚に保管する。

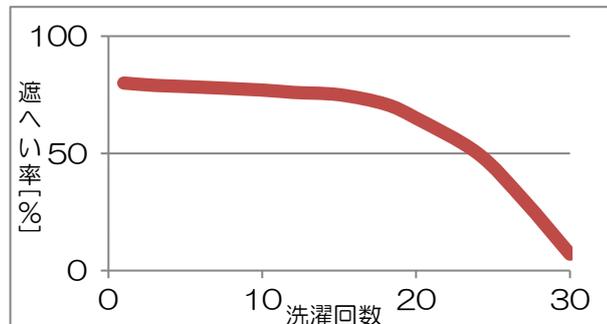
①洗濯回数管理

下記の条件で洗濯した場合、「**洗濯回数20回**」を導電衣使用限界の目安とします。

※1；洗濯条件

- ・洗濯ネットに入れる。
- ・中性洗剤使用。
- ・「弱」「手洗い」。
- ・他の洗濯ものと一緒に洗濯しない。
- ・陰干し(自然乾燥)
(乾燥機は使用厳禁)。

※2；洗濯回数と遮へい率の関係は、右図の通り



②電気抵抗値管理

電気抵抗値による使用限界管理の目安は「**1,000[Ω]**」とします。

- ・洗濯回数に関わらず、電気抵抗が増大した導電衣は既定の遮へい率が確保できません。
- ・フード～トレンカ間の電気抵抗値を所定の方法で測定します。

その他

- ◎新開発の銀メッキ糸を網目状に配したメッシュ生地なので、数々の効果が期待できます。
- ◎メッシュ状の生地を使用し、トップスは半袖、ボトムは七分丈なので、通気性が良く、夏季でも熱がこもらないことから、熱中症の予防も期待できます。
- ◎銀イオンには抗菌性(殺菌性)があり、汗でぬれた状態でも細菌の活動を抑えられ防臭効果や感染症予防など衛生面でのメリットもあります。
- ◎開発段階で実施した「実着用試験のアンケート」でも、電工さんから高評価を得ています。

